

校報 まきがね

恵那西中学校だより 第3号

令和2年 6月1日(月) 発行



「主役の再登場」

～学校再開にあたって～

校長 熊崎 健一

5月25日(月)から、段階的にではありますが学校を再開することができました。この日を待ちわびていた人々の想いが届いたかのような、実に気持ちのよい朝でした。額に汗して登校し、マスクの下の笑顔がこぼれ出そうな生徒を見ていると、「いよいよ主役の再登場!」我々も生徒・家庭・地域の期待に一層応えていかねばならない!という思いを強くしました。

まずもって、2か月半以上もの間、生徒の家庭生活を支えていただいたご家族のご努力に深く感謝申し上げます。通常の夏休みの2倍近い休業期間でしたので、みなさまのご苦勞も並大抵のことではなかったと存じます。また、学校再開にあたり、3密を避ける対策として、校区を2つのグループに分けての分散登校という“決断”をしました。賛否両論あったかと存じますが、今のところ大きな混乱なく進んでいるのは、みなさまのご理解・ご協力のおかげです。ただ、スクールバスによる登下校を要するという地域の特性上、小学生のお子さんとの調整までは手が及ばなかったことをお詫びいたします。どうか、今しばらくご辛抱ください。

さて、学校再開とはいえ、以前どおりというわけにはいきません。コロナ対策の手を緩めることなく安全に学校生活を送るため、再開当日、全校放送で次のようなお話をしました。

1. 「感染防止対策」(マスク着用、検温、手洗い・うがい等)を、自分で確実に行うこと
2. 段階的な再開期間中に時間を自己管理し、「時間行動」の習慣を取り戻すこと
3. こんな時だからこそ「思いやりの心」で他者に接し、安心できる雰囲気をつくること

このところの報道等では、“with コロナ” “アフター・コロナ”など、新たな生活スタイルについても取り上げられるようになってきました。

学校においても、生徒や保護者のみなさまとともに「安全・安心な学校生活」について引き続き考え、工夫と改善を重ねながら取り組んでまいりますので、ご支援のほど何卒よろしく願いいたします。



個々の生活や学習に関する不安に、丁寧に対応していきます。

中学生とはいえ、学校再開にあたっては様々な不安を抱えていることでしょう。学校生活が軌道に乗るまでは、不安定で当然。だからこそ気を付けたいのは、一人で悩みを抱え込んでしまうことです。

そこで、本校では6月8日から当面の間、通常のお昼休みと掃除の時間を合わせた40分間を「個別相談」の時間として丁寧な対応に努めます。生活面・学習面を問わず、ことの大小を問わず、お子さんに心配事や不安があれば、気軽に先生に相談するようご家庭でも勧めてください。